

キユビギングチ

Towada flavitarsus (Tsuneki)
ハチ目・ギングチバチ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

確認地点数は前回に比べてやや減少したが、今回新たに見つかった生息地もある。現ランクを維持。本県のほか、栃木県、埼玉県で減少が報告されている。

分 布

北海道と本州に分布。県内では大野市、永平寺町、越前町、若狭町、高浜町等に記録あり。今回は福井市足羽山、国見岳、文殊山、越前町越知山、敦賀市天筒山でも確認された。

種の特徴

体長は5mmほど。体色は黒色だが、前胸、小楯板、脚は黄色。雑木林の枯木や薪積みにも営巣し、ハエ目を狩る。巣穴の閉鎖にスギの樹脂を使うことが知られている。

生息を脅かす要因

極端なスギの人工林化や、土地開発等による営巣環境の改変が危惧される。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、羽田 (2002)、羽田ら (2002)、羽田ら (2005)、羽田・井上 (2006)、環境省 (2015)、室田 (2001)、室田 (2003)、室田ら (2008a)、室田ら (2008b)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○				○			○						○	○

ニッコウツヤアナバチ

Alysson monticola monticola Tsuneki
ハチ目・ギングチバチ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

確認地点数は前回と変化なし。前回のランクを維持。

分 布

本州に分布。県内では大野市赤兎山、六本檜、中洞、巢原（平家平）で採集記録があり、今回は赤兎山以外では引き続き生息を確認できたほか、おおい町染ヶ谷でも採集された。

種の特徴

体長6～7mmほど。近似種のハクサンツヤアナバチよりやや小型で、体の黄色紋が発達している。山地に生息し、涼しい登山道を選び、土の中に営巣することが知られている。ヨコバイ類を狩る。

生息を脅かす要因

従来、奥越地方の山地の登山道付近で生息が確認されていた。このような山道はかつては各地にあったが、過疎化が進行し、車での交通が主流になるとこのような山道は荒れ果て、本種の生息できる環境は極端に減っている。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、羽田ら (2002)、室田 (1998)、室田 (2002)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○														○	

コガタホオナガヒメハナバチ

Andrena lonicerae Tadauchi & Hirashima
ハチ目・ヒメハナバチ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

前回調査時に比べ、確認地点数が増加した。全国的に本種をレッドリストに記載しているのは本県のみであることも考慮し、ランクダウンした。

分 布

本州～九州に分布。県内では福井市、鯖江市、高浜町内で記録がある。今回は福井市大芝山、国見岳、越前町花立峠、小浜市久須夜ヶ岳、高浜町馬居寺等で確認された。

種の特徴

体長約10mm。顔が細長く見えるハナバチ。里山的な環境を生息地とする。早春に成虫は出現し、地中に巣を作る。ウグイスカグラやツクバネウツギの花を訪花する。

生息を脅かす要因

訪花植物の一つであるツクバネウツギは丘陵地～低山帯の雑木林の林縁や尾根伝いにみられる低木である。里山の開発や管理放棄による藪化は訪花植物の消失を招き、本種の生存に影響を及ぼす。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、室田 (2015)、室田ら (2008a)、室田ら (2009)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○		○		○							○			○